

事項九 「ペルー」移民関係雑纂

- 一 各耕地行移民輸送計画
- 二 森岡移民合名会社扱関係
- 三 東洋移民合資会社扱関係

一 各耕地行移民輸送計画

一六二 三月二十三日 在リマ森領事ヨリ
加藤外務大臣宛

ペルー国各耕地行契約移民力ヤオ港

ニテ転乗輸送ノ件

公第一五号

(五月二十八日接受)

大正四年三月二十三日

在里馬

領事 森 安 三 郎(印)

外務大臣男爵 加藤高明殿

当国各耕地行契約移民ハ東洋汽船会社南米航路船ニテ一旦
「カヤオ」港ニ来着シ同港ニ於テ沿岸航路船ニ転乗シ夫々

耕地最寄ノ上陸港ヘ輸送セラレ居リ候処偶々適當ノ便船ナ
キ場合ニ於テハ之ガ輸送上艱カラザル困難アリ現ニ今回ノ
如キ之ガ為メ著シク不便ヲ感ジ将来ノ参考トモ相成ベキニ
付左ニ右転乗輸送ノ顛末詳細及具報候

東洋汽船会社紀洋丸ハ森岡取扱「カニエテ」耕地行移民六
名「サン・ニコラス」耕地行移民二十八名「チクリン」耕
地行移民七十六名並ニ東洋取扱「サン・ホセ」耕地行移
民百名ヲ搭載シ三月十一日「カヤオ」ニ到着致シ当初十四
日同港出帆ノ予定ニ有之候処近来当方面沿岸航路船ノ発着
不規則ト相成居リ幸ニ南方「カニエテ」耕地行移民ノミハ
便船アリテ直チニ輸送スルコトヲ得タルモ北方耕地行各移
民ハ予定ノ便船一週間延着スルコト、成リタル為メ差向キ
之ヲ輸送スベキ便船ナク去逆船待ノ為メ移民ヲ一時「カヤ

オ」ニ上港セシムルトキハ第一之ガ監督困難ニシテ從來ノ
例ニ徴スルモ何等カ面倒ヲ惹起スベキコト必然ニシテ尚同
地ニハ過般來歐洲戦乱ニ依ル經濟界不況ノ為メ困難セル勞
働者尠カラズ殊ニ目下大統領選挙前ノコト、テ同地ニ二百
余名ノ移民ヲ上陸セシムルコトハ之ヲ政争ノ具ニ利用セラ
レ將來ニ悪影響ヲ遺スノ虞ナシトセズ旁々移民ノ「カヤオ」
上陸方ハ之ヲ差止ルコト、致候而シテ東洋移民会社取扱移
民ハ東洋汽船会社ニ於テ上陸港迄之ヲ輸送スルノ契約ナレ
バ「カヤオ」到着以後ハ代理店「グレース」会社ニ於テ之
ヲ周旋スルコト、ナリ森岡移民会社取扱移民ハ「カヤオ」
着以後ハ同社ニ於テ之ヲ輸送スルコト、相成居リ同社代理
人ヨリ他ニ方法ナキニ付「グレース」会社所有大伝馬船
(百五十噸)ヲ小蒸汽船ニ曳カシメ之ニテ移民ヲ輸送セシ
メ度ク許可アリ度キ旨願出タルモ専門家ノ意見ヲ徴シタル
上ニテ決定スルコトトシ紀洋丸一等運転手ノ検査ヲ求メタ
ルニ港内ニ於テハ何等危険ノ虞ナキモ港外ノコトハ当方面
ノ沿岸航海ニ経験アルモノ、鑑定ニ待ツノ外ナシトノコト
ニ有之又「グレース」会社所有沿岸航路船々長ノ意見ニテ
ハ更ニ危険ナシトノコトナリシモ尚為念紀洋丸船長ノ意見

ヲモ求メタルニ相当ノ準備ヲナシ置カバ危険ナカルヘシト
ノコトナリシヲ以テ森岡代理人ヘハ最後ノ方法トシテ之ガ
準備ヲナシ置キ差支ナキモ尚紀洋丸出帆迄他ニ安全ナル方
法ヲ講スルコトヲ怠ラザル様申渡置キタルニ偶々「カヤオ」
港内碇泊中ノ汽船「モンテ・ブランコ」号ニ便船到着迄一
時移民ヲ收容セシムルコトニ交渉纏リ森岡代理人ハ前記曳
船ノ準備方ヲ中止シタルニ「グレース」会社「カヤオ」支
店ニ於テ自社ノ利益上港務局ニ対シ運動シタルモノト見え
前記伝馬船並ニ小蒸汽船ニ対スル安全証明書ヲ得来リタル
ト同時ニ同局ハ前記「モンテ・ブランコ」号ニ移民ヲ收容ス
ル為メ船内ノ消毒方ヲ命ジ從テ同船持主亦移民ノ收容方ヲ
謝絶スルニ至リ一方「グレース」支店長ヨリハ伝馬船ニテ
輸送方極力懇請シ来リタルガ紀洋丸ハ積荷ノ都合上其出帆
ヲ延期スルコト、ナリ且ツ天候不穩ノ報サヘ伝聞シタレバ
右「グレース」支店長ノ請求ハ断然拒絶致置タルニ十四日
在智利代理公使ヨリ「ドレスデン」「バルパライソ」近海
ニアリトノ噂アリ紀洋丸出発日取電報スベキ旨電命ニ接シ
タルヲ以テ之ガ返電旁同船ハ本社ノ命ヲ待タズ出帆ヲ差止
メ置ク方可然ト思考セラル、ガ何分ノ電訓アリタキ旨申送

リタルニ代理公使ヨリ差止方可然ト思考スルモ尚大臣ノ訓令ヲ請フベキ旨回電アリ依テ事情ヲ具シ東洋汽船会社ヲシテ紀洋丸出帆ヲ十八日迄延期セシムル様御取計方稟請ノ電報ヲ發送セントスル折柄機密第四号信ニテ報告ノ通り代理店ヨリ軍艦「グラウ」護送ノ件ニ關スル依頼ヲ受ケ当国外務大臣ト内談ノ結果其承諾ヲ得タルヲ以テ不取敢前記電文ノ末ニ其旨附記シ御訓電ヲ仰キタル次第ニ有之候処偶然沿岸航路船「ツムベス」号入港ノ報アリ森岡取扱移民中「サン・ニコラス」耕地移民二十八名ヲ同船ニ又「チクリン」耕地行移民七十六名ヲ「ウカヤリ」号ニテ輸送スルコトニ交渉纏リ東洋取扱移民ニ關シテハ「グレース」支店長ヨリ更ニ伝馬船ニテ輸送方執拗ニ請求シタルモ他ニ便船アル以上求メテ危険ヲ冒ス必要ナキヲ以テ東洋取扱移民モ同様前記「ツムベス」号ニテ輸送スルコトニ尽力スベキ旨懇々説得致シタルニ遂ニ翌朝(十六日)之ガ交渉ヲ行フベキコトヲ約スルニ至リタルガ紀洋丸ハ翌十六日出帆ノ予定ナレバ万蹉跌無之様東洋代理人ヘモ「グレース」支店ニ一任セズ自ラ充分尽力スベキ旨注意致置タルニ翌日ニ至リ前記東洋代理人ハ「カヤオ」ヨリ電話ヲ以テ「ツムベス」号船主ハ

里馬総支店ニ於テ直接解決セシムルノ外ナキヲ以テ之ニ交渉シ移民ヲ一時港内碇泊中ノ汽船「パチテヤ」号ニ収容シ二十二日出帆ノ「ウルバンバ」号入港ノ際更ニ之ニ転乗輸送セシムルコトニ取計ハシメ候此時既ニ紀洋丸出帆時間前僅カニ三時間ヲ余スノミニシテ此間ニ能ク全部移民ノ転乗ヲ了シ得ルヤ聊懸念ニ付直チニ「カヤオ」ニ急行シ「グレース」支店長ヲ同伴シ紀洋丸ニ赴キタルニ漸ク少数移民ヲ転乗セシメタルノミニテ到底出帆前全部ヲ転乗シ得ルノ見込ナキヲ以テ支店長ヲシテ更ニ伝馬船ヲ増派セシメ僅カニ其転乗ヲ了シタル次第ニ有之候而シテ転乗船「パチテヤ」号ニテハ各移民取扱人代理人ニ於テ夫々当番人ヲ附シテ移民ヲ監督セシメタルニ食料ノ供給不十分ニテ移民間ニ苦情起リ止ヲ得ズ取扱人ノ負担ヲ以テ之ガ補給ヲナシタル由ニ有之候

以上詳述シタル通り当地汽船会社等ノ不信用斯ノ如ク而カモ移民取扱人代理人ニ於テモ爾後ノ結果等ニ就キ考慮スルコトナク動モスレバ一時ノ困難ヲ避クル為メ危険ヲ冒サントスルノ傾アリテ充分ノ監督ヲ要シ從テ今回ノ如ク船便ノ都合宜シカラザル際ニハ輸送上ノ面倒不尠且ツ勢ヒ移民

多数移民ヲ乗船セシムルコトヲ欲セズ又移民ニ對シ充分ノ食料ヲ給シ且ツ規定ノ船賃割引ヲモ肯セズ從テ「グレース」支店ト交渉纏ラズ就テハ十八日ノ便船迄移民ヲ上陸セシムルコトニ許可アリ度キ旨申来リタルモ前記森岡取扱移民ハ現ニ同船ニテ輸送セラル、コト、ナリ居リ且ツ前記「グレース」支店長ノ態度ニ顧ミ尚交渉ノ余地アルモノト思考シタルヲ以テ今一応交渉ヲ試ミ他ノ方法ヲ講スベキ旨回答シ置キタルニ午後ニ至リ再び同代理人ヨリ全ク方法尽キタルヲ以テ既ニ移民ノ上陸收容方ニ關シ交渉ヲ試ミ充分ノ監督ヲ行フ丈ノ手配整ヒタレバ許可アリ度キ旨申来タルヲ以テ止ヲ得ズ承諾シタルニ間モ無ク森岡側ヨリ東洋取扱移民ヲ上陸セシムルコト、ナリタル為メ「ツムベス」所有主ハ森岡取扱移民ノ乗船ヲモ謝絶シ来リ紀洋丸出帆時間モ迫リ居リテ今更如何トモスルコト能ハズ就テハ東洋取扱移民ヲ同船ニ乗船セシムル様取計ハレ度旨急報申来リタルモ東洋代理人ハ移民上陸ノ為メ紀洋丸ニ赴キ居リテ伝達ノ途ナク又「グレース」支店ハ到底之ヲ信頼スルニ足ラズ而モ本件ハ最初ヨリ同社「カヤオ」支店ニ於テ取扱居ルヲ以テ里馬総支店ニ於テ之ニ干渉スルコトヲ欲セザリシモ事情斯ノ如ク

ノ負担ヲモ多カラシムルコトト相成将来斯ノ如キ場合ニ於テ移民間ニ何等紛議ヲ惹起スル様ノコトナキヲ保シ難ク候而シテ当国ニ於テハ支那人ヲ搭載シテ東洋諸港ヨリ来ル船舶ハ「カヤオ」入港前他ノ諸港ニ於テ荷物及乗客ノ積卸ヲナスコトヲ得ザル規定ニテ東洋汽船会社船ヲシテ北方耕地行移民ヲ途中北方諸港ニ上陸セシムルコト能ハズ從テ「カヤオ」寄港後更ニ之ニ廻航セシメザル限り転乗ハ免レザル所ニ有之又南方ニ於テハ今日ノ処「カニエテ」耕地アルノミニテ之ハ智利方面ヘノ航海ノ順路ニ當リ居リ從前ハ多数移民アル際ニハ之ニ寄港シ居リシモ近來東洋汽船会社ニ於テ移民上陸ノ為メ特ニ之ニ寄港セシメザルコトニ改正シタル趣ニテ代理店ニ於テモ特ニ「セロアスール」行貨物ナキ限り之ニ寄港セシムルコトヲ肯セズ從テ北方耕地行ト同様「カヤオ」ニテ転乗ヲ要スル次第ニ有之候

然ルニ東洋汽船会社船ハ往航ノ際ニハ「カヤオ」港ニ四五日間碇泊スルヲ常トシ沿岸航路線モ通常一週間一回以上有之普通ノ場合ニハ便船ヲ得ルニ差シタル不便無之モ偶今回ノ如ク多数ノ移民ヲ搭載シ来リタル際適當ノ便船ナク止ヲ得ザル場合ハ東洋汽船会社船ヲシテ移民上陸港ヘ廻航セシ

ムルカ又ハ便船アル迄出帆ヲ延期セシムルコトトセバ移民輸送上便益不尠現ニ同社ノ移民運送賃「カヤオ」港迄最高額九十円其他ノ秘露諸港同九十五円ト相成居リ斯ノ如キ場合ヲ予期シタルモノト思考セラレ候処右ハ移民幾人以上有之場合ニ特ニ寄港セシメ得ルノ規定ニ有之候哉予メ承知致置度尙東洋汽船会社ヲシテ其辺ノ儀ニ関シ当地代理店へ詳細通知致置カシムル様致度右報告申進候 敬具

一六三 六月三日 坂田通商局長ヨリ
浅野東洋汽船会社社長宛

南米航路移民運送船ノペルー国沿岸寄港

ニ関シ調査方ノ件

通送第五一三号

移民取扱人ノ取扱ニ係ル移民ニシテ貴会社南米航路移民運送船ニ依リテ秘露国「カヤオ」港ニ到著シ他船ニ移乗シテ同国沿岸諸港ニ到ル者ハ近來「カヤオ」港ニテ短日間ニ適當ノ便船ヲ得難キ場合アリテ多大ノ困難ニ遭遇致シ候趣在里馬帝國領事ヨリ報告ノ次第有之候ニ付移民運送船取扱方ニ関シ左記ノ事項御取調ノ上至急御回答相成度此段申進候也

外務省通商局長 坂田重次郎殿

拝啓

大正四年六月三日通送第五一三号ヲ以テ御照会ニ接シ候諸件左ノ通り御回答申上候間御一覽被成下度候

(一)御許可相成居候秘露国「カヤオ」港以外ノ諸港行移民運賃九拾五円ハ弊社船ヲ以テ此等諸港ニ移民ヲ運搬シタル場合ニ適用致候

「カヤオ」以外ノ秘露諸港ニ弊社船ガ廻航スル場合ハ相当ノ移民数ト時日ノ余裕アルトキニ限り移民会社ヨリ相談ノ結果実行致候從來ノ慣例ニ依レバ或一港ノ上陸移民数概ネ百人位ヲ以テ決定ノ標準ト致居候尤モ秘露規則ニ依リテ東洋ヨリ來ル弊社船ハ最初「カヤオ」港ニ是非入港スルヲ必要ト致候ニ付テハ「カヤオ」港以北ニ赴クハ航行跡戻リトナリ從テ時日及航海費用トノ関係ヨリ殆ント寄航シタルコト無之候

沿岸諸港へ移民輸送ニ関シ弊社ハ在秘代理店又ハ運送業者ト何等特別契約ヲ有セズ候但シ「カヤオ」港内手荷物運搬ニ付テハ在秘代理店ヲ經テ其運搬業者ト交渉ノ結果左ノ取扱ヲ受クル事ニ相成居候即チ手荷物一人一個ヲ携帯スルモ

記

一移民運送賃秘露国「カヤオ」港九十円其他諸港九十五円トシテ許可セラレアリ右各港へ廻船スルハ如何ナル場合ニ於テセラル、ヤ又沿岸諸港へ移民輸送ニ関シ貴社ト在秘代理店又ハ運送業者等トノ間ニ特別契約アラバ其概要ヲ示サレタシ

二移民ヨリ適當ノ運賃ヲ徴シ貴社移民運送船ヲ沿岸各港ニ廻航セシムルコトヲ得サルヤ又ハ他船ニ移乗セシムルトスルモ貴社ニテ同地代理店ト約束シ一定運賃ニテ沿岸輸送ヲ引受クルコトヲ得サルヤ

三貴社船ガ「カヤオ」港ニ滞船ノ長キハ移民移乗ニ便アリ之レガ為メ隨時出帆日ヲ延長スルコトヲ得サルヤ又普通同港碇泊ハ幾日間ト定メアリヤ

一六四 六月九日 浅野東洋汽船会社社長ヨリ
坂田通商局長宛

南米航路移民運送船ノペルー国沿岸寄港

ニ関シ回答ノ件

東洋汽船株式会社

社長 浅野 総一郎

ノトシ

移民 二十五人迄

・八〇(割引ナシ)

同 二十六人以上

一割引

同 五十一人以上

一割五歩引

同 百〇一人以上

二割引

同 百五十人迄

二割五歩引

超過手荷物一個ハ一割四拾仙

手荷物一個ノ重サハ百英斤ニシテ其以上ハ百英斤ニ達スル迄ハ手荷物一個ノ割ニテ計算ス

(二)移民ヨリ適當ノ運賃ヲ徴シ社船ヲ沿岸各港ニ回航セシムル事ハ前記ノ理由ニテ「カヤオ」以北ノ諸港ニ回航スルハ困難ニ候得共同港以南ノ沿岸港ニハ事情ノ許ス限り寄港致居候

「カヤオ」港ニ於テ他船ニ移乗セシムル場合一定運賃ノ下ニ之ヲ引受クル事ハ移民ノ上陸港及員数ニ対シ見込立タス殊ニ歐洲戦争ノ結果「カヤオ」港ニ於ケル連絡不定ナレバ船待費用モ計算致シ難キ故目下移民転乗ニ対シテハ移民会社ノ依頼ニ依リテ可出来丈ケ援助ヲ与フルノミニ候弊社トシテハ「カヤオ」ヨリ同国沿岸諸港ニ赴ク他社船便移民運

搬ニ対シテハ損害ヲ蒙ムルヲ希望不致候

(三)弊社船ガ「カヤオ」港ニ滞船スル時日ハ現行定期出帆表ヨリ三日以内ハ延長シ得レトモ郵便船ナルト貨物関係ヨリ出帆準備出来次第出港ヲ要シ候ニ付可及的便宜ヲ計ルハ勿論ニ候得共右延長ヲ常ニ保証スルハ困難ニ存候普通「カヤオ」碇泊ハ三日ニ有之候

右御回答迄如此ニ御座候 敬具

一六五 六月二十三日 加藤外務大臣ヨリ
在リマ森領事宛

ペルー国力ヤオ港ヨリ移民転乗輸送

ノ件

通送第一七号

本件ニ関シ本年三月二十三日付公第一五号ヲ以テ御報告相成候処東洋森岡両移民取扱人ニ対シテハ移民輸送ニ方リ可成速ニ之ヲ其地代理人ニ通知シ「カヤオ」港ニ於ケル移民転乗方ノ準備ヲ為シ誠意取扱ニ任スベキ旨ヲ示達シ又一面東洋汽船株式会社ニ対シテハ別紙甲号写ノ通照会致候処乙号写ノ通り回答有之候条委曲右ニテ御了承相成度此段申進候也

ヤオ」港ニ上陸セシムルカ又ハ便船ヲ見出サバルベカラザルコト、相成タリ然ルニ「カヤオ」ニ一時上陸セシムルコトハ之ガ監督困難ニシテ從來ノ例ニ徴スルモ何等面倒ヲ惹起スル虞アリ尚ホ同港ハ過般来欧洲戦争ニ因ル経済界不況ノ為メ職ヲ失ヒタル労働者尠カラズ為メニ二百余名ノ移民ヲ一時ニ此地ニ上陸セシムルコトハ不可ナル事情アルニ付在里馬森領事ハ之ヲ差止メタルヲ以テ移民輸送関係者ハ之レガ処置方ニ困惑シ漸ク港内碇泊中ノ汽船ニ一時移民ヲ移乗セシメ沿岸航路船ノ来著ヲ待チ便乗セシメタル始末ナリシ趣在里馬森領事ヨリ報告ノ次第有之候秘露国沿岸航路船ノ発着不規則ノ為メ「カヤオ」港ニ於ケル移民転乗困難ノ義ハ独リ移民ガ目前損害ヲ蒙ムルニ止マラズ延イテ如何ナル紛擾ノ因トナルヤモ計リ難キニ付關係移民取扱人ニ対シ篤ト御注意ノ上今後秘露国行移民ヲ輸送スルニ方リテハ移民取扱人ヲシテ可成速ニ之ヲ同地在留代理人ニ予報シ移民到着以前ニ於テ相当準備セシムルコトニ御示達相成度將又本件解決方ニツキ東洋汽船株式会社ノ意見ヲ徴シ候処「カヤオ」港以南ノ一港ニ約百名位ヲ輸送スル場合ニハ時日ニ余裕アルトキニ限り移民会社ノ相談ニ応ジ廻船ヲ実行スベ

註 通送第五一三号ヲ甲号写トシ浅野社長回答書ヲ乙号写トス
両者前掲ニ付省略

一六六 六月二十三日 坂田通商局長ヨリ
伊沢警視總監宛

ペルー国力ヤオ港ヨリ移民転乗輸送

ノ件

通送第三一四三号

秘露国行契約移民ハ東洋汽船株式会社南米航路船ニテ一旦「カヤオ」港ニ到リ同港ニ於テ沿岸航路船ニ転乗シ夫々耕地最寄ノ上陸港ヘ輸送セラル、モノナル処近來沿岸航路船ノ発着不規則トナリ「カヤオ」港ニ於テ移乗ニ適當ナル便船ヲ欠キ輸送上ニ困難ヲ生スル場合アリ現ニ森岡取扱「カニエテ」耕地行移民六名「サンニコラス」耕地行移民二十八名「チクリン」耕地行移民七十六名並ニ東洋取扱「サン・ホセ」耕地行移民百名ヲ搭載セル紀洋丸ハ本年三月十一日「カヤオ」港ニ到着シ当初同月十四日出帆ノ予定ナリシニ其間南方「カニエテ」耕地行移民ノミ幸ニ便船アリテ直チニ輸送スルコトヲ得タルモ北方耕地行各移民ハ予定ノ便船一週間延着スルコト、ナリ船待ノ為メ移民ヲ一時「カ

キモ「カヤオ」港以北ニ赴クハ航行跡戻リトナリ時日及航海費用ノ關係上極メテ困難トスル所ナリ次ニ「カヤオ」港ニ於テ他船ニ移民ヲ移乗セシムルニツキ東洋汽船株式会社ガ同地代理店等ト約束シ一定運賃ニテ沿岸輸送ヲ引受クルコトハ移民ノ上陸港及其員數ニ対シ見込立タサルニヨリ引受ヲナスコトヲ得ズ同会社船ノ「カヤオ」港滞船時日ハ現行定期出帆表ヨリ三日以内ハ延長シ得ルモ郵便船ナルト貨物關係ヨリ出帆準備出来次第出港ヲ要スルニ付可及的便宜ヲ計ルベキモ移民移乗ノ為メ出帆日ノ延長ヲ常ニ保証スルヲ得サル趣回答ニ接シ候斯カル次第ナルニ付「カヤオ」以南ノ各港ヘ移民ヲ輸送スル場合ニ対シ移民取扱人ヨリ予メ東洋汽船株式会社ト協定ヲ為ス必要可有之ニヨリ右併セテ御示達相成度此段申進候也

一六七 七月八日 伊沢警視總監ヨリ
坂田通商局長宛

ペルー国力ヤオ港ヨリ移民転乗輸送

ニ関シ東洋森岡両移民会社答申ノ件

附屬書一 神谷東洋移民合資会社業務担当社員ヨリ加藤外務大臣宛答申書

二 保田森岡移民合名会社代表社員ヨリ加藤外

務大臣宛答申書

進第一一八九号ノ二
二三四号ノ二

大正四年七月八日

警視總監 伊 沢 多 喜 男 (印)

外務省通商局長 坂田重次郎殿

客月二十三日付通送第三一四三号標題ニ関スル御申越ノ件
東洋移民合資会社森岡移民合名会社ニ対シ夫々示達致置候
処別紙ノ通申出候也

(附屬書一)

答申書

弊社取扱秘露國「サンホセ・スウテ」耕地行移民輸送ニ關
シテハ從來弊社ニ於テハ東洋汽船會社へ交渉ノ結果横濱
「カヤオ」間及移民上陸地點タル「サマンコ」「カヤオ」
間聯絡輸送ニ就テハ同社「カヤオ」代理店タル「グレース」
商會ヲシテ北行船へノ轉乘及滞在ニ關シ一切ノ責任ヲ負ハ
シムルノ協定有之候之レト同時ニ同國駐在弊社業務代理人
ヲシテ常ニ此點ニ關シテハ留意ヲ怠ラシメズ弊社ニ於テハ
移民ノ出發港ヲ發シタルトキハ遲滞ナク電報ヲ以テ渡航移
民數及ビ船名等ヲ通達致候而シテ在里馬弊社出張員ハ適當

ノ時機ニ於テ「カヤオ」港ニ出張シ「グレース」商會員ト
共ニ北行船へノ轉乘ニ關シ諸般ノ斡旋ヲ致シ尚「カヤオ」
ヨリ耕地迄ハ弊社出張員移民ト同行致居候

今後モ弊社取扱秘露行移民(「サンホセ・スウテ」「タムボ、
レアル」耕地等)ニ對シテハ前記ノ如ク東洋汽船株式會社
トノ協定ニ基ク連絡方法ニ依リ輸送可致東洋汽船株式會社
ニ對シテハ豫メ其代理店ニ船舶ノ準備セシムル様依頼致置
クベク里馬在留弊社業務代理人ニ對シテハ一層移民ノ轉乘
其他滞在ニ關シテハ萬全ヲ期シ移民ノ迷惑ヲ一掃セシムル
様取計ハシムベク訓令可致候尚弊社ノ希望トシテハ前記耕
地ノ上陸地點タル「サマンコ」又ハ「チムボテ」港ニ直航
セシメ度東洋汽船株式會社ニ謀リ同社ノ南米航路船ヲ前記
ノ二港ニ寄港方交渉相試ミ候へ共同社ニ於テモ何等カノ事
情アルヤニテ希望ヲ容レズ餘儀ナク前頭ノ如キ連絡輸送ノ
協定相整ヒ候モノニ有之候

本年三月弊社取扱ノ「サンホセ・スウテ」行移民ノ到着シ
タルトキハ會々歐州戰亂ノ影響ニ依リ北行船ノ發着不確實
ナリシト不定期船ノ不足ナリシヲ以テ急遽臨時傭船ヲナス
能ハザリシ爲メ遲延ヲ生ジタルモノニ有之別紙當時ノ模様

詳細ノ報告寫添附供貴覽候
右御達ニ基キ此段答申仕候也

大正四年六月廿九日

東京市京橋區新肴町拾番地

東洋移民合資會社

業務擔當社員 神 谷 忠 雄 (印)

外務大臣男爵 加藤高明殿

(別 紙)

写

(一)

(營) 報告第百拾七号

大正四年三月十七日

於ペルー国リマ市 斎 藤 千 之

東京

本社 御中

拝啓

「サンホセ」耕地行移民ハ予テ御案内ノ數即チ男八十五名
女十五名合計壹百名外ニ携帶児五名共去十一日朝「カヤオ」
港ニ到着同日午後便乗船紀洋丸検査ヲ了リ全部合格候

九 「ペルー」移民関係雜纂(一) 一六七

今回ハ生憎連絡船五日以來無之武週間絶エ居ル始末ニテ大
閉口罷在候

紀洋丸ハ昨十六日夕刻南方諸港ニ向ヒ出發シ移民ハ昨日午
後無撓所上陸船待チニ決シタルヲ以テ一同紀洋丸ニ於テ仕
度中急ニ模様變ヘトナリ(森領事ノ指図ノ為メ)同日夕刻
当国汽船「パチテア」号(目下汽錐修繕ノ為メ碇泊中)ニ
移乗セシメ宮坂氏ヲ残シ昨夜十時過ぎ里馬ニ帰着候移民ハ
多分来ル月曜日廿二日「カヤオ」港出帆ノ「ウルバンバ」
号ニテ「サマンコ」港ニ輸送ノ運ビニ至ルベク候

本日「メイル」出發ニ付不取敢右ノミ申上候追テ詳細御報
可申候

(二)

(營) 報告第百拾八号

大正四年三月廿七日

於ペルー国リマ市 斎 藤 千 之

東京

本社 御中

拝啓

○紀洋丸便「サンホセ」耕地行移民ノ耕地到着

先便申上置候通り去ル月曜日(三月廿二日)午後「ウルバン」号ニ転乗船中監督トシテ宮坂国人氏付添「カヤオ」港出帆「サマンコ」港ニ向ヒ候「ネベンニヤ」廿五日付宮坂氏ヨリノ電報接手左ノ通り

無事一同今朝着

右ニ基キ直ニ貴方宛別紙確メノ通り發電候

○移民ノ「カヤオ」港滞留

先便一寸申上置候通り今回ハ生憎連絡船無之候為メ大ニ閉口仕候

紀洋丸ハ予定表ヨリモ二日早ク到着(三月十一日)併カモ「カヤオ」揚ノ積荷僅少ニテ從テ滞留日数モ二三日間トノ最初ヨリノ言ヒ振ラシニテ同船出帆後ノ移民転乗滞在等ノ処置ニ関シテハ不尠苦慮致候尤モ今回ハ前回トハ異リ万事貴方肝煎ニテ東洋汽船会社ガ「サマンロ」迄ノ Passage Orderヲ発行シ居ルコトニテ一切当地代理店「グレース」商会ノ処置スベキ筈ニハ相違無之候モ彼等ノ処理振リハ今日迄往々油断ナリ難キ例アリ特ニ目玉ヲ光ラシ居ラザル可ラズ苦勞ノ点ニ於テハ從來トモ變リ無之候只当方ニ於テ便利ヲ感ズルコトハ「グレース」ニ頭ヲ下ゲテ頼ムコトヲ要

右件ニ関シ領事ト会谈ノ約アリトノ返答ニ付不取敢其日ハ引取り候

右ハ紀洋丸到着ノ翌日「カヤオグレース」商会ニ參リ移民輸送方法ニ関シ聞込ミ候コトニテ其翌日(十三日土曜日)領事館ニ領事ヲ訪ヒ候領事ハ

他方ニ適當ノ輸送方法見当ラズトノ理由ニテ森岡ヨリノ

曳船輸送願出ニ対シ無拠所許可ヲ与ヘタリ云々

東洋移民ノ輸送方法ニ就テハ未ダ何レヨリモ不聞、昨日電話ヲ以テ「カヤオグレース」支配人会見ヲ申込ミタルニ付待居リシモ遂ニ来ラザリキ云々依テ小生曰ク今回ハ東洋汽船ガ当社移民ニ限リ輸送スベキ約東東京本社間ニ成立シ居レバ代理店ナル「グレース」商会ガ適當ノ方法ニヨリ輸送スル義務ヲ有スルコトヲ述ベ尚昨日「カヤオグレース」商会ニテ聞カサレタル輸送計画ニ対スル私見ヲ縷述シ尚今日

ノ如キ適當ノ輸送方法無之ノ際ナレバ領事ヨリ一応船長ナリ、「グレース」ニ談ジ紀洋丸ヲシテ北方「サマンコ」及ビ「サラベリ」(森岡移民七十名許)モ特ニ寄港スル様尽力アリタシト申候ニ曾テ静洋丸ガ南方所謂途中ノ港ナル「セロアスール」港サヘ寄港ヲ肯ンゼザリシ前例モアレバ

セスコトト当方ニ船賃其他ノ費用払込ニ差支ヘノ場合仮令バ昨年八月「モラトリウム」ノ結果ノ如キニ於テハ實ニ便利此上モ無之候

「グレース」商会ハ移民ヲ「カヤオ」港ヨリ「サマンコ」港迄輸送スル適當ノ連絡船ナキモノカラ紀洋丸出帆後ハ移民ヲ「カヤオ」ニ上陸セシメズニ直ニ百八十噸計リノ平底荷船(60 tons Tugboat "Guanay")ニテ「サマンロ」港ニ輸送スベキ計画ナル旨聞カサレ候

「サマンコ」港ハ直航スルトシテ百九十四哩アリ曳船ニテハ少クトモ二昼夜ト見積ラザル可ラズ尤モ「グレース」側ニテハ參拾六時間ニテ充分ナリト申候ヘ共何分太平洋ニ有之何時如何ナル事變ノ起リテ二昼夜ガ五昼夜トナランモ不図併モ平底ノ荷船ニテ充分ノ設備、備品等無ク「グレース」ニテハ相當ノ設備ヲ整フル旨申候モ例ノ如ク口上ノミニテ決シテ信頼出来ズ)充分危険ノ伴フアリ本邦ニハ移民運送船規定ノ如キ八釜敷法則ノ存スルアリ決シテ満足シ難キニ付小生ハ直ニ領事ノ承認ヲ絶対必要トスル旨ヲ述ベ候ニ「グレース」側ノ曰ク右ハ既ニ森岡移民会社ヨリ出願シテ許可ヲ得居レリ尚本日午後「カヤオグレース」支配人ハ

到底力ノ及バザル旨ヲ聞カサレ候サレバ帝国政府ヲシテ東洋汽船ニ命令ヲ発セシムル様出来難キ哉ト申候ニ絶対必要ノ場合トアレバ随分電稟シ難キニ非ラザルモ今日ノ場合上陸ナルモノガ絶対出来ザルト云フ理由モナキ訳ニテ只政争期ニ際シ日本移民ヲ「カヤオ」ニ上陸セシムルト云フコトガ目下面白カラズト云フ迄ノコトナレバ日本政府ヲシテ東洋汽船ニ命令セシムルコトハ先ツ出来難キコトト承知スベシ云々ニテ引取候

抑モ曳船ニテ移民ヲ輸送スルハ全ク冒險極ルモノニシテ領事ガ許可シタリトスルモ事變等起リタリト仮定センカ領事が責ヲ負フトスルモ事變出来後ニ於テハ何等ノ効力モ無之会社ハ申スニ及バズ今後ノ秘露移民ニ及ボス影響甚大ニシテ斯業發展上一頓挫ニ帰着スルヲ想ヘバ容易ニ承諾スベカラザルコトニ候

紀洋丸ハ當時ニ於テハ月曜日(十五日)午後出帆ノ予定ニテ同船出帆後「カヤオ」港ニ於ケル適當ナル(一時的ニモ)積換船モ無之前記「グレース」商会計画ノ如ク団平船ニテ曳船ニヨルカ又ハ上陸宿泊セシメテ北行便船ヲ待タシムルカノ二途以外ニ方法ナキニ付愈々月曜日ニナリテ紀洋丸出

帆船ストスレバ平ラ底荷船ニ不取敢移乗セシメ「グレース」ノ称スル設備ナルモノ、良否ヲ検分セシ上移民ヲ輸送スルニ適當安全ト認メ得ザル場合ニハ万難ヲ顧ミズ断然上陸セシメンモノト決心シ一方上陸ノ際ニ要スル家屋其他ノ準備ニ心掛候此レト同時ニ一方前日ヨリノ新紙ハ独艦「ドレسدン」号ガ智利沖ニ於テ英国船ヲ撃沈シ其乗組員ハ他船ニテ「ヴァルパライソ」港ニ上陸セリ云々ノ記事ヲ報ジ居リシヲ以テ南方航海愈々危険トナリ為メニ紀洋丸ガ当方好都合ノ日取迄即チ「サマソ」港行便船ノアル迄此処四五日間尚「カヤオ」港ニ碇泊ノ運ビニ至ランコトヲ窃カニ祈念候

愈々月曜日トナリ候ニ独艦問題ノ為メ紀洋丸ハ兎ニ角本日ハ出帆セズ多分ハ明日午後トナルベシトノ報ヲ得候モ尚北行便船ハ火曜日ヨリ起算スルモ二日又ハ三日後ニ非ザレハ入港シ来ル当モ無之苦慮罷在候処恰モ其日北方ヨリ一小汽船「トゥンベス」(“Tumbes” 四百噸) 号入港セリトノ報ヲ得ルト同時ニ「サンホセ」耕地支配人ヨリ電報ニテ右「トゥンベス」号ハ来ル十八日(木曜日)「カヤオ」出帆ニ付(其後同船ハ廿一日出帆セリ)右船ニテ輸送スル様協議

アルベント田舎ヨリ申来リ候ニ付不取敢該船所有者ヲ訪ヒ予メ交渉ニ及ビ候処百名ニ対スル充分ノ設備ハ無之モ敢テ輸送ニハ困難無之ト思考ス只懸念サルベキハ船ハ今朝北方ヨリ入港シ荷物ノ陸揚及積込等ニテ混雜スベク此際百有余名ヲ明火曜日ヨリ引取り移乗セシムルニハ小サキ甲板ノコトニテ御互ニ邪魔トナリ第一作業ニ影響ヲ及ボスベキニ付此点ハ船長ノ意見ヲ慥カメシ上ナラデハ如何トモ即答シ難キニヨリ明朝十時ヲ期シ返答スベシトノコトニテ別レ候

翌早朝(火曜日)「カヤオグレース」商会ニ参リ候ニ独艦モ沈没ノ今日ナレバ本日ハ是非共紀洋丸ヲ出帆セシムベシトノコトニ付前記ノ一小汽船「トゥンベス」号ノ幸ヒ入港碇泊セルアリ右汽船ニ本日紀洋丸ヨリ引取ラシメ数日ノ後輸送スベク交渉ノコト迫リ候之ヨリ前キ昨日領事ニ「トゥンベス」号入港ノコトヲ報ジ置キシモノカラ領事ハ森岡商会ニ対シ許可セシ団平船曳船ノコト差止メ森岡商会ハ無拠所右趣「グレース」商会ニ通ジ居リシモノカラ曳船ニヨル輸送ハ最早出来難キコトヲ承知シ右「トゥンベス」号所有者ト交渉ニ出デントセシ折柄ナリシヲ以テ直ニ小生等モ立会ヒ所有者ト更メテ交渉致候パン、茶、米飯ノ外何物モ給セ

ザル条件ニテ(副食物ハ別ニ当方ヨリ供給セザル可ラズ)

「カヤオ」碇泊中ハ一日「ソール」(一人ニ付)宛ヲ要求シ「グレース」ハ汽船会社仲間ノ交渉ナルニ余リノ要求ナリト告ゲシモ頑トシテ当方所要ニ応ゼズ東洋汽船ニ対シテモ如斯交渉ニテ纏メ難シトノコトニテ遂ニ破談トナリ候小生ハ領事ニ電話ヲ以テ「トゥンベス」移乗ノコト到底出来難キ事情トナリシ旨ヲ説明シ此上ハ無拠所移民ヲ上陸宿泊セシムルヨリ外策無之ニ付此旨御含アリタシト通ジ無拠所トノ返事ヲ得候ニ付直チニ移民ヲ陸上ニ引取ルノ方法ヲ定メ「グレース」トモ協定ノ上午後二時紀洋丸ニ出向キ候移民ハ午前中ニ乗換又ハ上陸スベキ手筈ニ取り極メ一同甲板上ニ待チ倦ミ居リシガ未ダ「グレース」商会ヨリ送附ノ転乗舢舨整ハズ其内「グレース」商会ヨリ使ヒノ者船ニ参リ移民ハ上陸セシメズニ紀洋丸ヨリ直ニ港内碇泊ノ「パチテア」号ニ移乗セシメ十八日「ウルバンバ」号ニテ「サマソ」港ニ輸送スベキコトニ只今急ニ模様換トナリシ旨聞カサレ候大ニ喜ビ不取敢札ヲ述ベシ様ノ次第ナリキ

乗セシメ荷物其他ノ取り形付ケヲ了ヘシハ八時半ニテ其夜宮坂氏ヲ殘シ同夜里馬ニ帰着候
「パチテア」号移乗後ノ移民狀態ト食料ノ不平
「パチテア号」ニ移乗セシ移民ハ同日午前十時紀洋丸ニテ朝食セン俣ニテ併カモ余リニ急速ノ纏マリ方ナレバ到底乗換後夕食ヲ供給スルノ運ビニ不至シテ騷擾ヲ起スベキヲ慮リ船長及事務長ニ懇請シ漸ク夕食ヲ移乗前供給スルコトニ整シモ下級船員ノ不注意ノ結果遂ニ紀洋丸ニテハ食事ノ時間ヲ失シ候ヲ以テ更ニ依頼シテ空樽ニ填メ込マシメ「パチテア」号迄移民荷物ト共ニ運ビ込ミシガ幸「パ」号ヨリモ頗ル簡單ナガラ夕食ノ供給アリシヲ以テ同夜ハ各自空腹ヲ満タシ得テ満足ナリキ
翌日(水曜日十七日)宮坂氏ト交代移民狀態監視ノ為メ「パチテア」号ニ出向シ山脇氏ノ報告ニヨレバ船中供給ノ食糧誠ニ少量ニテ移民ハ為メニ羈々不平ヲ鳴ラシ此俣ニ放仕セハ愈々騷擾スベキニ付直チニ司厨手ニモ談ゼシ由ナルモ材料ナキヲ如何セントノ返答ニテ同氏ハ直ニ「グレース」商会ニモ談ジ速ニ改良ノコト促ガシ来レリ云々依テ更メテ当方ヨリモ「グレース」ニ嚴談ニ及ビ「グレース」支配人ハ

即刻秘露汽船会社ニ交渉候

由來当海岸ニ於ケル三等船客ハ殆ソド人間扱ヒヲ受クル資格ナキモノ、如ク扱ハレ牛馬、荷物ト同居シテ食物ノ如キ極メテ少量ヲ給セラレ到底日本船トハ雲泥ノ差アリ併モ当国人ハ自他共ニ如斯取扱ニ対シ怪マズト申ス習慣ニテ三等船客ハ普通食糧ヲ携帯シ又ハ港ニ入リシ際飲食物ヲ売リニ來ルモノヨリ随意ニ求ムルノ現況ニ候

「パチテア」号供給ノ食糧ハ普通三等船客ニ対スルモノト差違ナキモ多年米食ヲ主トシ胃拡張ヲ來シ居ル日本移民ニ取リテハ少量ニ過ギ到底空腹ヲ感ゼズニ居ラレザルハ實際ニテ船待チ中ハ食フ以外ハ何等ノ考モ有セザル彼等ニトリテハ同情スベキコトニモ候

「パチテア」号ニ一旦移乗セシメ更ニ十八日出帆ノ「ウルバンバ」号ニ転乗輸送ノコト紀洋丸ニテ急ニ模様換ヘ(陸地ニ收容船待チノ件)トナリシ際聞カサレ大ニ喜ビ居リシ処「ウルバンバ」号ハ月曜日廿二日出帆ト其ノ日聞カサレシモノカラ直ニ「グレース」ニモ交渉シテ十九日出帆ノ「マボチヨ」号(一日延ビ廿日出帆)ニテ輸送ノコト变换手續ヲ迫リ候ヘ共「グレース」商会ノ言ヒ分ハ領事ノ慫慂ニ基

補ハシムルコトモ到底不可能ニ付其ノ後(水曜日)協議ノ結果明日「パ」号ニ至リ尚實際ヲ慥カメシ上不足ノ場合ニハ会社ヨリ特ニパン十個宛ヲ供給スルコトニ取極メ全権ヲ帶ビテ翌十八日宮坂氏「パチテア」号ヲ訪ヒ候同氏ハ「パ」号ノ食糧ガ幾分カ改良セラレタルヲ認メタルモ到底充分ナラザルニ付パン十個宛一日ニ給与スルコトニ定メ在「カヤオ」今村ト称スル者ニ供給方ヲ一任シ移民ノ満足願ヲ見届ケタ刻歸來候

同日ヨリ尚五日間「パ」号滞在ノ余儀無キニ至リシ為メ船上監視ヲ置クノ要ヲ生ジ候ニ付同日モトノ「ラベガ」耕地監督タリシ榊谷民次郎ヲ遣ハシ出帆迄船中ニ宿泊監視セシメ候

移民ハ予期ノ如ク食慾ヲ滿タシ得シ結果頗ル柔順トナリ其後出帆日廿二日午後「ウルバンバ」号ニ転乗目的港ニ向ヒ候コト既ニ申上候通りニ候 以上

(附屬書二)

答申書

去月廿五日附ヲ以テ御下問相成候弊社取扱秘露契約移民ニ係ハル秘露國「カリヤオ」^{Callao}港ヨリ其他ノ上陸港ニ至ル積替

キ無拠所秘露汽船会社ト無理交渉ノ末「パチテア」号ニ移乗シ「ウルバンバ」号ニテ輸送スベク取極メタルコトニテ今更他汽船会社所屬船ガ会々数日前ニ出帆スルトハ云ヘ变换交渉出来難ク尚領事ハ「ウルバンバ」号ガ月曜日(廿二日)ニ出帆ノコトモ當時ヨリ充分承知シ居リ其レニテモ結構ナリトノ言ニ付「グレース」トシテハ面白カラザリシモ漸ク交渉ヲ纏メタル次第ナリ云々領事ニ問ヒ合ハセ候ニ全ク「グレース」ノ言ノ如ク月曜日出帆ノコトハ「グレース」ヨリ聞カサレタリ尚其レニテモ結構ナレバ何卒移民ヲ上陸セズ碇泊中ノ船ニ一旦收容スルコト依頼セリ右ハ一刻ヲ爭フノ問題ニテ猶予シ難キ事情ノ下ニ取極メタルコトニテ「グレース」ニ対シテモ此レ以上十九日出帆ノ「マボチヨ」号ニテ輸送ノコト今更言ヒ難キニ付所謂無拠所事ト諦ラメラレ度シ云々ノ意味ニテ返事アリ關係者一同ハ為メニ不勘迷惑ヲ蒙ムル次第ニ候ト述ベ置キ候

前述ノ次第ニテ愈々月曜日迄「パチテア」号ニ滞在セシメザル可ラズトセバ何等カノ方法ニ於テ移民ノ食慾ヲ満足セシメザレバ一層騷擾スベク併カモ三等船客規定ノ食糧ヲ特ニ増加セシムルノ見込立タズトハイヘ移民自弁ニテ食物ヲ

方法ニ關スル件左ニ御答申上候

從來弊社取扱秘露契約移民輸送ニ關シテハ東洋汽船株式會社ト契約ノ下ニ横濱又ハ神戸ヨリ「カリヤオ」港迄金九拾圓「カリヤオ」以外ノ港迄九拾五圓ニテ托送致シ居リ候處右契約滿了以後今日迄「カリヤオ」以降ニ對シテハ前記ノ運賃ニテハ托送ノ承諾ヲ得ルニ至ラズ其結果各港トノ運賃區々ニ相成移民ノ不利益ハ尤論取扱上弊社ノ不便不勘困却致居候尤モ積替ニ付テハ弊社秘露支店ヲシテ之ヲ取計ハシメ違算ナキヲ期シ一方再三東洋汽船株式會社ト交渉中ニ屬シ居リ候處今回御承認相受候「カニエテ」耕地行移民募集ヲ機トシ同社トノ間ニ交渉ヲ進メ居候處左ノ回答ニ接シ申候

一、「カリヤオ」港ヨリ北方ニ於ケル輸送ノ引受及定期船ノ寄航ハ秘露國ノ法規ニヨリテ東洋ヨリ來ル汽船ガ最初ノ到達港ハ必ズ「カリヤオ」港ナルヲ必要條件ト爲ス間ハ交渉ノ餘地ナキコト

二、「カリヤオ」港ヨリ南方ノ港ニ對シテ寄港ニアラザル輸送ハ歐洲戰爭ノ結果ニヨル同國沿岸情況回復セザル迄ハ之ヲ引受ケ難キコト尤モ實費ヲ支給スルニ於テハ可出

來丈便宜取計フベキコト

三、「カリヤオ」港ヨリ南方ノ諸港ニ至ル寄航ノ件ニ付テハ船舶航行貨物關係等ニヨリ方針ヲ變ゼザル可カラザル場合有之ニ付確定的ニ寄港ヲ引受クルコト能ハザルモ百名以上ノ移民ヲ搭載シ南方ノ一港ニ寄港スルコトハ豫メ照會アリタル場合十中ノ八九希望ニ應ズベク但一港以上ノ港ニ寄港スル場合ハ其ノ都度ニ非ラザレバ決定シ難キコト

四、「カリヤオ」以南ノ港ニ定期船ガ移民ヲ百名以上搭載寄港ヲ承諾シタル場合當分ノ内「カリヤオ」ヨリ以南ノ一港迄ヲ金五圓トシテ横濱ヨリ通シ運賃金九拾五圓ニテ引受クルコト

若シ百名以下ノ場合ニテモ金五百圓ヲ「カリヤオ」ヨリ同港以南ノ一港迄ノ運賃トシテ支拂フトキハ寄航セシムルノ件ハ他ノ關係差支ナキ場合ニハ可成希望ヲ容ルベキ事

五、本年七月及九月出帆ノ紀洋丸及安洋丸便ニハ搭載員數百名以上ナルガ故第三項及第四項ニヨリ寄港ヲ承諾シタルコト

テ兼テ弊社移民ノ積替ヲ取扱ハシメ來リタル「グレース」商會ト特約セシムルコトヲ得バ多少之等ノ杞憂ヲ減少シ得ベキ歟ト存居候ニ付調査ノ上更ニ御答可申上候也

大正四年七月六日

東京市京橋區山城町四番地

森岡移民合名會社

代表社員 保田龜太郎(印)

外務大臣男爵 加藤高明殿

一六八 七月十五日 坂田通商局長ヨリ
伊沢警視總監宛

ペルー国力ヤオ港ヨリ移民転乗輸送ニ関シ更

ニ東洋森岡両社ノ協議方示達依頼ノ件

通送第三四九六号

本件ニ関シ本月八日付進第一一八九号ノ二ヲ以テ御申越ノ

次第有之候処東洋移民合資会社及森岡移民合名会社ノ答申書ヲ査閱スルニ両会社共同処理ヲ要スベキ事柄ニ対シ個々ニ処断取扱致シ居ル傾キ有之候固ヨリ本件ノ如キハ移民ノ利益ヲ図ル限度ニ於テ一致ノ行動ヲ採ル必要可有之ニ付左

右ニヨリ移民ヲ「カリヤオ」ヨリ南方ノ諸港ニ輸送スル場合ニ於テハ其員數百名以上ノ場合ハ東洋汽船株式會社ニ托送ノ交渉可致百名以下ト雖トモ移民ニ對シ利益ト認ムル場合ハ同様交渉ノ上托送可致候

移民ガ「カリヤオ」以北ノ港ニ上陸スル場合及「カリヤオ」以南ニテモ東洋汽船株式會社ガ托送ノ引受ヲ爲サル場合又ハ百名以下ト雖トモ移民ニ不利益ト認ムル場合以上三件ニ對シテハ弊社尤モ考慮シツアル處ニ有之候得共從來「カリヤオ」以南ハ聯絡船ノ出入約二週間ニ一回ナルモ北方ハ頗ル頻繁ニ有之且ツ入耕準備ノ都合モ有之候間移民出發後直ニ電報ヲ以テ之ヲ通知シ違算ナキ様取計ヒ居候ニ付積替ニ關シテハ本年一月出帆ノ移民搭載船紀洋丸便ヲ例外トシテ餘リニ困難ヲ感ゼザリシ次第ニ有之候得共歐洲戰爭ノ結果多少同國沿岸情況ニ影響ヲ及ボシ候爲メカ去ル一月出帆ノ紀洋丸到着ニ際シテハ予メ約束シタル聯絡船ノ突如入港ヲ延期シ來リ移民ヲシテ「カリヤオ」港ニ於テ滞在日數ヲ重ネシムルノ止ヲ得ザルニ立至リ候間在里馬弊社代理人ニ命ジ一層最善ノ方法ヲ講ゼシムル様命令可致候猶他ノ方法トシテ在「カリヤオ」港東洋汽船株式會社代理店ニシ

記ノ点ニ関シ両会社協議ノ上其取扱方ヲ一定シ更ニ答申可致旨御示達相成度此段申進候也

記

一「カヤオ」以南ノ諸港行移民ニシテ其數百名ニ達シ東洋汽船株式會社ニテ廻船スル場合ニ在リテハ両会社取扱移民ヲ合シテ計數スルコト並ニ百名ニ不足スル為メ五百円ヲ汽船会社ニ支払ヒテ廻船セシムルトキモ他船ニ移乗スルトキノ運賃等ニ比シテ移民ニ利益アル計算ナラバ其補足額ヲ定ムルコト等ニツキ両会社間ニ打合セヲナスベキコト

二「カヤオ」港以南ノ諸港行ナルモ東洋汽船株式會社ニテ廻船ヲ引受ケサル場合並ニ「カヤオ」以北ノ諸港ニ移民ヲ上陸セシムル場合ニ在リテハ秘露國沿岸ヲ航行スル外國船ニテ移民ヲ輸送スルモノナルニヨリ必シモ両会社一致ノ取扱ニ出テ難キ事情アルベキモ已ニ東洋移民合資会社ハ東洋汽船株式會社ヘ交渉シ横濱「カヤオ」間及「サマンコ」「カヤオ」間聯絡輸送ノ協定アル由ナレバ其乘客數ヲ多クスル為メ聯絡輸送上ニ有利ナル条件ヲ得ベキ見込ミアルニ於テハ両会社協商シテ汽船会社ヘ申込ミヲ

為スベキコト

三東洋移民合資会社ニ対シ前示聯絡輸送ノ協定ナルモノル
提示セシメラレタシ

一六九 八月五日 伊沢警視總監ヨリ
坂田通商局長宛

ペルー国力ヤオ港ヨリ移民転乗輸送ニ関シ東
洋及森岡両社協議事項通報ノ件

附屬書 神谷東洋移民会社担当社員及保田森岡移民会
社代表社員連名坂田通商局長宛届書

進第一三八八号ノ二

大正四年八月五日

警視總監 伊沢多喜男(印)

外務省通商局長 坂田重次郎殿

客月十五日付通送第三四九六号標題ニ関スル御申越ノ件東
洋移民合資会社森岡移民合名会社ニ対シ夫々示達致置候処
別紙ノ通申出候也

追テ東洋汽船会社対東洋移民会社聯絡輸送協定ハ兩社間
ノ口約ニ止マリ書面契約ニ非ル旨兩社ヨリ申出候ニ付為
念申添候

為メニ他ノ一會社ノ移民又ハ其社ニ損害ヲ及ボスベキ
場合ハ此限リニアラズ

二「カヤオ」港以南ノ諸港行ナルモ東洋汽船會社ニテ廻船
ヲ引受ケザル場合並ニ「カヤオ」港以北ノ諸港ニ上陸セ
シムル場合ニアリテハ秘露沿岸ヲ航行スル外國船ニテ移
民ヲ輸送スルモノナルニヨリ必ズシモ兩會社一致ノ取扱
ニ出難キ事情アルベキモ已ニ東洋移民合資會社ハ東洋汽
船會社ヘ交渉シ横濱「カヤオ」及「サマンコ」「カヤオ」
間聯絡輸送ノ協定アル由ナレバ其乗客數ヲ多クスル為メ
聯絡上ニ有利ナル條件ヲ得ベキ見込アルニ於テハ兩會社
協商シテ汽船會社ヘ申込ミヲ為スベキコト

右ハ兩會社ノ利害一致スル場合極メテ尠ナク、第一、移
民ノ輸送ハ確定的ノモノニ無之、第二、各目的港ノ相
違セルコト、第三、沿岸船ノ船腹大ナラザル為メ兩社
ノ移民ヲ必ズシモ一時ニ搭載シ能ハザルコト、第四、
隨テ監督上、混同乗船ノ困難ナル等ノ為メ實行ハ頗ル
困難ニ有之候得共兩社ノ利害一致スル場合ハ可成協商
可致候コト

尚東洋移民合資會社對東洋汽船會社間ノ協定ハ昨大正三年
九 「ペルー」移民関係雜纂(一) 一七〇

(附屬書)

御届

曩ニ南米秘露國行契約移民ニ係ハル南米秘露國「カヤオ」
港ヨリ其南方ノ港ニ上陸セシムル場合ニ於テ其轉乘ニ關シ
兩社ノ間ニ協商スベキ旨御下命相成候ニ付テハ左ノ通り決
定致候間此段御届申上候也

一「カヤオ」港以南ノ諸港行移民ニシテ其數百名ニ達シ東
洋汽船會社ノ定期船ニテ廻船スル場合ニアリテハ兩會社
移民ヲ合シテ計數スルコト並ニ百名ニ不足スル為メ五百
圓ヲ汽船會社ニ支拂ヒテ廻船セシムルトキモ他船ニ轉乘
スルトキノ運賃等ニ比シテ移民ニ利益アル計算ナラバ其
補足額ヲ定ムルコト等ニ付兩會社ニ打合セラ為スベキコ
ト

右ハ兩社ガ同一船便ニテ同一港ニ移民ヲ上陸セシムル
場合ニ限り東洋汽船會社ガ承諾ヲナシタルトキハ兩社
ノ移民ヲ合シテ計數ヲ為スコト及五百圓ヲ汽船會社ニ
支拂ヒテ廻船セシムル場合ニ其補足額ヲ定ムルコト等
ニ付打合ヲ為スコトニ一致仕候
但シ兩社ノ移民合シテ計數スル場合ニ於テ各一會社ノ

十二月廿四日ヲ以テ横濱「サマンコ」又ハ「チムボテ」間
ノ聯絡輸送ニ關シ運賃實費計算トシテ移民搭載方ヲ引受セ
シムル様相計ヒ候モノニ有之候而シテ其運賃仕拂方法ハ弊
社ハ東洋汽船會社ニ對シ横濱「カヤオ」間ハ既定運賃ヲ仕
拂ヒ「カヤオ」以北ノ運賃トシテハ「カヤオ」「サマンコ」
又ハ「チムボテ」間ノ船賃及横濱出帆移民搭載船「カヤオ」
到着後聯絡船待合セノ諸費用其他到着地ニ至ル迄ニ要スル
悉皆ノ費用一切ヲ支拂フモノニ有之候

大正四年七月卅一日

東京市京橋區新肴町拾番地

東洋移民合資會社

業務擔當社員 神谷 忠雄(印)

東京市京橋區山城町四番地

森岡移民合名會社

代表社員 保田龜太郎(印)

外務省通商局長 坂田重次郎殿

一七〇 九月六日 大隈兼任外務大臣ヨリ
在リマ森領事宛

ペルー国力ヤオ港ヨリ移民転乗輸送ニ関シ東

洋森岡両社協議ノ件

通送第二四号

本件ニ関シ本年六月廿三日付通送第一七号ヲ以テ申進置候次第有之候処尙ホ東洋移民合資会社森岡移民合名会社ヨリ別紙写第一号答申書差出シ候然ルニ該答申書中疎漏ノ点有之候ニ付第二号写ヲ以テ警視庁ヲ経テ両会社ニ対シ推問致シタル処両社協議ノ上第三号写ノ通り届書差出シ候条御了知相成度此段及通知候也

註 別紙第一号写ハ一六七文書附属書一及同二、同第二号写ハ一六八文書又同第三号写ハ一六九文書附属書ト夫々同文ナリ省略ス

二 森岡移民合名会社關係

一七一 二月十三日 坂田通商局長ヨリ
伊沢警視總監宛

ペルー国チクリン耕地行夫婦五十組男五十名
ノ供給期限二関スル件

附 記 一 大正三年十二月八日附在リマ森領事ヨリ

領事 森 安 三 郎 (印)

外務大臣男爵 加藤高明殿

森岡移民合名会社「チクリン」耕地間移民供

給契約証認之件

「ラ・リベラルタ」州「ツルヒヨ」郡「チカマ」原野所在「チクリン」耕地へ本邦移民夫婦者五十組及独身者五十名ヲ六ヶ月間ニ供給スベキ森岡移民合名会社同耕地所有主「ラルコ・エレラ」兄弟組合間本年十一月七日附契約本契約ヲ森岡耕地間昨年十一月廿五日附契約ニ比較スルニ相違ノ点左ノ如シ

第一条 契約移民数ヲ夫婦者五十組及独身者五十名トシ供給期間ヲ前契約ニテハ九ヶ月間トセシヲ本契約ニ於テハ六ヶ月間トセリ前契約ニ於テハ郊外並ニ製造場ノ労働ニ従事セシムル為トセシヲ本契約ニ於テハ専ラ郊外ニ於テノミ使用スル為ト訂正セリ右ハ元来本耕地ハ専ラ甘蔗ノ耕作ヲノミナシ製造場ヲ有セザルニ依ル

前契約ニ於テ追加条項トシテ附加セラレタリシ携帯児ニ関スル規定ヲ本契約ニ於テハ第二項トシテ第一条末尾ニ挿入セリ

加藤外務大臣宛公第四四号

森岡移民会社チクリン耕地間移民供給契約証認ノ件

二 大正三年十二月二十一日附坂田通商局長ヨリ

伊沢警視總監宛通送第六八四四号

書面契約案承認通知ノ件

三 保田森岡移民会社代表社員ヨリ加藤外務大臣宛請書

通送第六七二号

移民取扱人森岡移民合名会社ニ対シ客年十二月二十一日附ニテ秘露国「チクリン」耕地行契約移民夫婦五十組男五十名取扱ニ関スル書面契約案承認相成候処其際同取扱人ヨリ提出セル雇主ト移民取扱人間ニ取結ビタル契約書第一条ニ於テ移民供給期間ヲ九ヶ月以内トセルモ今回在里馬森領事ヨリ該供給期間ヲ六ヶ月間ト訂正セル旨報告有之候条該移民送出ハ右期間内ニ於テ執行スルヲ要スル旨同取扱人ニ御示達相成受書ヲ徴セラレ度此段申進候也

(附 記 一)

公第四四号 (大正四年一月二十七日接受)

大正三年十二月八日

在里馬

第十一条及第十八条 移民ノ耕地ニ滞在スベキ期間並ニ契約期間満了後引続キ耕地ニ止ルモノニ対シ勞務ヲ供与スベキ耕主ノ義務引続キ二ヶ年間耕地ニ労働スル移民ニ与フベキ帰国旅費支払ノ義務ヲ一層明確ニ規定セシニ止リ本年十一月十九日附「サン・アグスチン」耕地契約同条ト同文ナリ

前契約ニヨリ本耕地ニ渡航シタル本邦移民ノ総数ハ三十九名ナルガ最近同耕地ヨリノ通知ニヨレバ現在耕地ニアル者三十名内二名罹病シ居ル由ニテ曩ニ不良移民四名ヲ放逐シ眼病ニテ出府シタルモノ一名アリシヲ以テ尚他ニ四名ノ出耕者アル訳ナルガ之ニ関シ未ダ何等報知ニ接セズ過般同耕地ニ出張視察シタル森岡支店員ノ談並ニ其後同耕地ヨリノ通信ニ依レバ移民ノ成績ハ良好ナル方ニシテ耕主モ頗ル満足シ居リ今回ノ新契約ヲ結ブニ至リタル次第ナリトノコトニテ今日迄ノ処将来希望ノ耕地ト認メラレ此際特ニ注意ヲ要スル点無之哉ニ思考被致候条本契約ハ昨日其佩之ヲ証認シ尚森岡ヨリノ依頼ニ依リ本日左ノ通り電報ヲ以テ具報ニ及ビ置キ候

森岡「チクリン」男女百五十新契約証認セリ契約期間ヲ